整備コンセプト

文化と人をつくる学校

田端は古くから文士が集まり暮らした文士村があったことでその名が知られている文化の薫り高いまちです。 この歴史を大切に継承していくとともに、新たな田端の魅力を創造できる逞しい人材を育てていきたいという 思いを込めました。

- □ 田端の未来 ~次代を担う人を育てる学校づくり~
- □ あたたかみのある環境 ~人と環境を大切にする学校づくり~
- □ 地域とのふれあい ~ふれあいを深め広げる学校づくり~

配置·1 階平面図

敷地西側の道路沿いに校舎棟と体育館棟を配置しています。公開空地には塀を設けず、地域との連続性や、開放的な雰囲気を演出しています。

校舎棟を8階建てとし、建築面積をコンパクトにすることで、グラウンドの面積を確保する配置計画としています。 防災設備は、災害時の利用を考慮した配置計画としています。





道路沿いの公開空地

1F ランチルーム

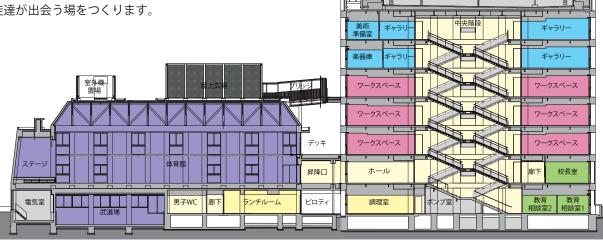
1F 武道場

断面計画

校舎の高層化に伴う生徒の移動負担を軽減するため、昇降口を2階へ配置し、避難時の動線を考慮して普通教室を3~5階に配置しています。

また、利用頻度の低い特別教室を 6、7 階に計画しています。 体育館屋上を生徒が気軽に利用できる憩いの場として整備 しています。

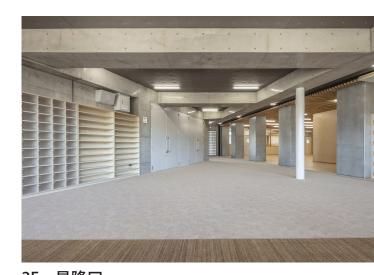
校舎棟の中央に配置したX型の階段は、クラスや学年を超えて生徒達が出会う場をつくります。





2F 体育館

地域開放利用を考慮した天井高と広さを確保しています。木の縦 桟が特徴的で、左右の窓から光が入る、明るい空間です。



2F 昇降口

一足制のため、下足入れがなくスムーズな出入りが可能です。2 階ホールは落ち着きとあたたかみのある木質の内装です。



2 階平面図

2 階は昇降口、管理諸室、体育館などを配置しています。 室内でも外履きを使用する一足制を採用しています。



ワークスペース

コンパクトなフロアながら、余裕を感じさせる開放的な空間になって います。

様々な活動に利用でき、引き戸を開けると多目的室や少人数教室との 一体的な利用が可能です。



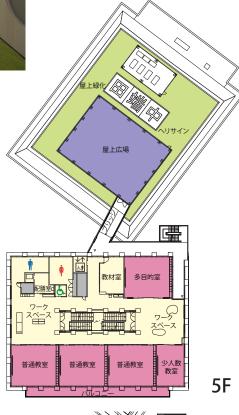
3~5F 普通教室

木質を取り入れた、温かみのある内装です。南面に大きな窓を配置した、採光の良い明るい学習環境です。

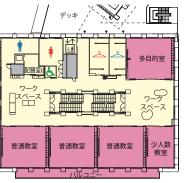


屋上広場・屋上緑化

体育館の屋上を、生徒の憩いの場として利用できるよう整備しています。



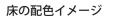




3・4・5 階平面図

3~5階は階ごとに分けられた学年の教室、多目的室、 ワークスペース等からなる普通教室階です。







各階ごとに異なる床の色



芥川龍之介の初版本 (画像提供:田端文士村記念館)

色彩計画

フロアごとに分けられた床の色は、田端文士村の あった明治から昭和初期にかけての流行色や出版物 りのある染色家、柚木沙弥郎さんの作品を使用して 端をモチーフとした新作の の色をイメージしています。



サイン計画

います。

柚木 沙弥郎 ゆのき・さみろう (1922-)



染色家・芹沢銈介に弟子 (すべての特別教室サインの作品画像提供:日本民藝館) 入りし染色の技法を学び、 (衝突防止サインの一部画像提供:世田谷美術館) 日本の型染の第一人者とし て国内外で展覧会を開催。

田端生まれ。

田端中学校の新校舎建設 特別教室などのサイン計画の一部に、田端にゆかでは、既存作品のほか、田 型染作品6点を提供。



8F プール

プールの水は、災害時の消防用水、避難所利用 時のマンホールトイレの排水にも活用します。



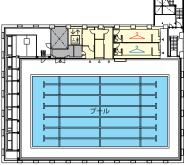
7F 和室

炉・水屋・床の間のある和室は日本文化にふれ るきっかけを創り出します。

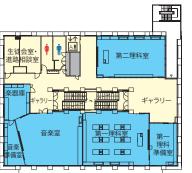


6F ギャラリー

展示棚のあるギャラリーは、理科の実験器具、 作品などを展示できるスペースです。

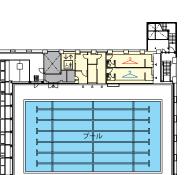






6・7・8 階平面図

6・7階は特別教室階、最上階の8階にプールを





配置しています。







太陽光パネル・モニター

8階屋上に太陽光パネルを設置。2階昇降口ホールにモ





プレキャスト・プレストレストコンクリートによる構造

8 階建ての高層となる校舎棟は、周辺が静かな住宅街であることから ニターを設置して、省エネの「見える化」を行っています。 工事騒音の削減、高い耐久性、工期短縮および工事精度の確保からプレ キャスト・プレストレストコンクリートによる構造体としています。こ の高品質な躯体そのものが外装となる計画です。

事業スケジュール

	2015年									2016年										2017年												2018年												2	2019	19年									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	, 8	9) 1	0 1	1 1:	2	1 :	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	11	12	1	2	3	[
基本設計																																																							
実施設計																											ī																												
解体工事																									+																														
新築工事																																						ļ																	

建物概要

建築場所:東京都北区田端 4-17-1

敷地面積: 7,222.35㎡ 用途地域:第一種住居地域 数:地上8階建

造: 校舎棟: プレキャスト・プレストレストコンクリート造、

一部鉄骨造、鉄筋コンクリート造

体育館棟:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、鉄骨鉄筋

コンクリート造 付属棟:鉄筋コンクリート造

建築面積: 2,312.08㎡ 延床面積: 8,255.72㎡

(校舎棟・体育館棟:8,030.75㎡、付属棟:224.97㎡)

工事関係者

【発注者】東京都北区

【設計・監理】シーラカンスケイアンドエイチ株式会社

【施工者】建築工事:越野・川田・髙山異業種特定建設共同企業体

電 気 設 備 工 事:ワーデン・和信建設共同企業体

給排水衛生設備工事:アネス株式会社

空 気 調 和 設 備 工 事:アネス・長谷川建設共同企業体 昇降機設置工事:株式会社日立ビルシステム 太陽光発電設備工事:大東電工株式会社 グラウンド整備工事:三和建設株式会社





田端中学校建物概要



